

▼イオメロン 300 シリンジ [注]

【重要度】★★★ 【一般製剤名】イオメプロール iomeprol 【分類】非イオン性造影剤

【単位】▼50mL・▼100mL/本 [61.24%]

【常用量】用途に応じ、5～100mL

【用法】静注

【透析患者への投与方法】用量を減じ投与後は速やかに血液透析による体外除去を図る。CAPD では除去効果が低いため、一時的な血液透析の併用を考慮する (1) 【その他の報告】添付文書上は重篤な腎障害 (無尿等) のある患者には原則禁忌となっているが、透析前に造影検査を行うことで、安全に使用できる (映像情報 24:1507,1992)

【保存期 CKD 患者への投与方法】重篤な腎障害 (無尿等) のある患者には原則禁忌 (1) となっているが、単回投与であれば減量の必要はない (5)

【特徴】造影に必要なヨード濃度において従来の非イオン性造影剤に比べ浸透圧および粘度が低い。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー様症状、悪心・嘔吐、発疹、搔痒感、発赤など

【排泄】尿中未変化体排泄率 97.5% [24hr まで] (1) 【CL】 99.0mL/min (1)

【t1/2】 α 相 22.3min, β 相 1.95hr (1)

【蛋白結合率】結合しない (1)

【Vd】 0.11L/kg (1)

【MW】 777

【透析性】除去率平均 70% (臨床透析 14: 489-492,1998) 4 時間透析による除去率は MF110 で 81.8%、MF150 で 89.4%、KF20C で 84.5%、BK1.6F で 80.5%、FB210U で 84.8%、4 時間 HDF (血液透析濾過) による除去率は FB210U で 89.9% (透析会誌 33: 195-201,2000)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない 【O/W 係数】 0.0029 [1-オクタノール/水系] (1)

【更新日】 20140604

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。